

実施報告

ちいさなこどものためのかがくあそび

ドレミを感じながら音をつくってみよう

講師：岳川 有紀子さん

こどもサイエンスプランニング代表



日時：令和7年3月26日（水）

【1回目】11:00 ~ 11:45 3歳から6歳のこども

【2回目】13:30 ~ 14:15 5歳から8歳のこども

場所：大阪市立総合生涯学習センター 第1研修室



保護者とこどもで音をつくって遊ぼう

ストローや空き箱、輪ゴムなど、身近にある物を使い、いろんな方法で『音』を出して、その音の違いや、なぜ『違う』のかを考え、こどもと保護者でいっしょにたのしく音遊びをしながら『気づき』を得る講座を行いました。

音の『高さ』の違いを考えよう

ドレミの音程に調律された『ドレミパイプ』をひとり一本持って音を出すグループワークでは、膝や太もも、床を叩いて音を出し、音の高さの違いの『なぜ』を考えました。音の『高さ』にはパイプの『長さ』が関係するのですが、「色がちがうから！」など自由な発想も飛び出すなか、最後にはパイプの長さと言音の高さのもつ法則性に気がきました。



いっしょに
考えて、
いっしょに
チャレンジ！

音遊びのなかでこどもの新たな一面を発見

素材や大きさの異なる空き箱に、いろいろな太さの輪ゴムをかけてはじいてみるとどんな音ができるのか、という遊びでは、『こんなに工作が好きだったなんて』『ほかの遊びではこんなに熱中することがなかったのに』『こういう遊びが好きだったんだ』というように、保護者がこどもの新たな一面を知る場面も見られました。

音を楽しむだけでなく、保護者とこどもが共に音の出し方を模索し、話し合いながら遊ぶなかで、保護者のこどもへの理解が深まり、より関係性を深める時間を過ごすことができました。





参加者アンケートより

- ・ずっと触ってみたいだったドレミパイプを手にすることができてとてもよこんでいました。
- ・「音を探す」というテーマを息子が楽しんでいて、親ながら息子のはじめての姿に驚き、感心する機会となりました。
- ・楽しかったです。
- ・娘がこんなにも工作に対して意欲的だったことを知れて新鮮でした。
- ・とても面白かった。
- ・子どもたちの音楽に対する興味が高まりました。



【 お問い合わせ先 】

大阪市教育委員会事務局 生涯学習部 生涯学習担当
電話：06-6539-3348
FAX：06-6532-8520



親力アップサイト